



左の図で、 O は円の中心で BC は直径です。

$OC=OA=OB=$ 半径なので2つの三角形は二等辺三角形です。

三角形の内角の和は180度より、

$$\bullet + \bullet + \triangle + \triangle = 180 \text{ 度} \rightarrow \bullet + \triangle = 90 \text{ 度}$$

よって、角 A は直角

(2) 上の説明より、直径を1辺とする三角形はすべて直角三角形になります。

直径を1辺とする三角形は下の図のように6通りで、直径は、 AE, BF, CG, DH の4通りあるので、

直角三角形の個数は

$$6 \times 4 = 24 \text{ 個}$$

24 個

